

## ・平成13年度執行方針（案）

### 基本方針

平成12年度事業執行への会員の皆様のご協力に、執行部一同心より感謝申し上げます。

長引く不況、及び若者のスポーツ離れの中、平成13年度の執行も非常に厳しい状況が予想されます。平成12年度中にありました教育庁査察の指摘による事務の改善、有資格者、登録会員、競技者登録、ポイント管理等々、事務の効率を図っていかねばなりません。

どの作業も手間と時間そしてお金がかかりますが、何とか13年度シーズン中に目途をつけたいと考えております。そして管理体制を整えた上で、減少し始めた会員の増加を図っていきたいと考えております。

来たるシーズンは、昨年の基本方針で申し上げました、中間層の取り込みに加え、新たにジュニアの育成、生涯スポーツとしての中老年層の掘り起こし、そして新規会員の獲得を期したいと考えております。それには今までのような努力の仕方ではなく、インターネット、雑誌、新聞、テレビ、ラジオ等々、多くのマスメディアにも働きかけを強めていかねばならないと思います。

また、各協会、各クラブにおきましても、このような努力にご協力を頂きたいと考えております。

近年になって、スノーボードのスキー組織への加入、昨年よりハンディキャップ委員会の発足、専門委員の技術強化等、新たな取り組みを行っておりますが、まだまだ大きな成果を得るには至っておりません。しかしこれは組織にとって非常に大切な事業であり、今後もいっそうの努力をして行きたいと考えております。

教育、競技の両本部の行事執行に当たっては、広く各協会選出の専門委員のご協力を頂きたいのですが、現実にはごく一部の協会の、特定の専門委員の努力によって成り立っているのが現実であります。

厳しい社会状況の中、専門委員の協力も限界に達しつつあり、皆様方の一層のご理解を頂きたいをお願い申し上げます。

任期の間ではありますが、特に競技本部、総務本部の専門員の再募集をしたいと考えておりますので、ヤル気のある人をご紹介いただきたくお願い申し上げます。

最後に、財務面について申し上げます。昨年より、有資格者登録料が入金されるようになり、一息ついたかに思われましたが、会員の減少、行事参加者の減少、また、最初に申し上げましたような一般管理の増加等により、決してゆとりのある状況ではなくなってきています。

また、各委員会より新規事業の申し出、備品の補充等々、支出の増加が予測されます。そして行事参加者は、競技会の質の向上や教育本部専門委員の技術力の向上を希望しております。

執行部一同、経費削減に最大限の努力をいたして参りますが、状況の好転が無ければ、平成14年度シーズンには、サービスの一部縮小、または、参加料の一部値上げを実施せざるを得なくなる可能性があります。来る13年度シーズン・・・協会、クラブ、会員の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。